



図書館に行こう！

本は心の栄養 そして暮らしを豊かに

毎日多くの方が本を借りたり、思い思いの時間を過ごしたりする図書館。市立小樽図書館は大正5（1916）年に区立小樽図書館として創立してから、平成28年度に100周年を迎え、新たな100年に向けてスタートしました。みんなが集い、みんなでつくる、今までとはちょっと違った図書館の魅力を紹介します。

図書館はどんなところ

【図書館のある一日】

図書館の開館時刻である午前9時30分になると、開館を待ちかねていた利用者が本を返却し、新刊コーナーで読みたい本をチェックしています。新聞・雑誌コーナー（写真①を参照）では新聞や雑誌を手にとって読み始める方がいるほか、2階の学習室で勉強を始める方や、郷土資料室で昭和30年代の新聞を熱心に調べている方もいます。

閲覧室では、展示コーナーで興味深そうに本を見ている方や、机に事典を積み上げて調べものをしている方もいます。児童室（写真②を参照）では、カーベットに座って孫に本を読んであげているおばあちゃんや、両手にたくさん



①新聞・雑誌コーナー



②児童室



③えほんの動物園

の本を抱えてカウンターに持ってくる子どもの姿もあります。

図書館には、1日平均650人の方が来館されます。「図書館は本の好きな人が行く所」そう思って、敬遠されている方も多いのではないのでしょうか。

図書館は、いわゆる読書を楽しむために来ている方ばかりではありません。

「子どもに面白いお弁当を作りたい」「うちの庭に来た野鳥の種類は何?」「自転車のパンクを修理するには」「旅行先のおいしいレストランを調べよう」「札幌の会社の経営状況」「絵手紙の書き方」など：図書館は日々の暮らしを豊かにするさまざまなジャンルの蔵書約30万冊を揃えています。また、展示コーナーでは

の場所では保育所や小学校で絵本の読み聞かせ、中学校で本の紹介をしています。11月3日(祝)には子ども読書イベント「としよかん発おたる子ども読書の日」を開催予定です。

本だけじゃない！図書館の楽しみ方

図書館では本以外にも楽しめるイベントをたくさん開催しています。28年12月には小樽商科大学「小樽の活性化について本気で考えるプロジェクト（本気プロジェクト）」およびおたる水族館と協力し、「すいぞくかんがやってくる」を開催しました。子どもたちはヒトデやナマコなどの海の生き物



すいぞくかんがやってくる

に触れたり、飼育員の方の話の聞き取り、サケの一生すごろくや紙芝居を楽しみました。また、懐かしい映画を上映する「シネマ名作劇場」や「CDコンサート」も開催しています。29年3月にはビートルズ

ズのCDコンサートを開催しました。会場の視聴覚室にビートルズの特集した雑誌等を展示し、約20曲を鑑賞しました。そのほかにも小樽の歴史についての話を聞きながら散策する「小樽まちかど再発見」や、市民の方から寄贈された本を還元するリサイクルブックフェアも開催しています。

図書館に行こう！

図書館では本や雑誌を通してさまざまな情報や人の出会いの場となることを目指し、イベントの開催や情報発信に力を入れています。28年6月からは図書館の活動をお知らせするフェイスブックも始めましたので、ぜひご覧ください。

☆☆☆☆

「楽しいことがあるから図書館に行こう」「暮らしや仕事の疑問の解決に行ってみよう」そんなときは、図書館に足を運んでみませんか。お問い合わせは、図書館 ☎ 07726、FAX ☎ 07338 へどうぞ。



④映画のポスター展示



⑤パン屋やパンのレシピを紹介



市内の読書推進団体「たるBOOK」による絵本の読み聞かせ

テーマに沿って本や資料を紹介しています。これまでに紹介したテーマには「新入学・新入園準備特集」「えほんの動物園（写真③を参照）」「小樽っ子はイヌ派？ネコ派？」などがあります。時代小説や歴史・浮世絵などに関する本を約200冊展示した「江戸時代で候」では、半分以上の本が貸し出され、好評でした。

また、本だけではなく映画のポスター展示（写真④を参照）や、小樽を舞台にした漫画「聖樹のパン」と共に小樽のパン屋やパンのレシピを紹介する展示（写真⑤を参照）も行いました。

郷土資料室では戦前の電話帳など、普段は書庫に保存している貴重な資料を展示しています。

ほかに、明治28（1895）〜昭和17（1942）年に小樽で発行されていた「小樽新聞」の貴重な記事をマイクログフィルムで調べることもできます。

移動図書館車「わくわくブック号」は、約2000冊の本を積んで1カ月に1〜2回、市内38カ所を巡回しています。本を借りる、返すだけでなく、予約していた本を受け取ることもでき、年間約5400人が利用しています。



わくわくブック号

子どもと本の出会いをお手伝い！ 図書館には子ども向けの本

市有財産（土地・建物）を売却します

市では、下記の市有財産を一般競争入札により売却します。 ▶受付期間 9月20日(休)まで ▶入札日 9月28日(休)

☎詳細 契約管財課 ☎内線235、FAX ☎0675

物件	①旧若竹小学校敷地および建物	②旧学校給食新光調理場敷地および建物	③旧消防署長橋出張所敷地および建物	④旧塩谷C住宅敷地	⑤旧最上B住宅敷地(区画1)	⑥旧最上B住宅敷地(区画2)	⑦旧最上B住宅敷地(区画3)	⑧旧最上B住宅敷地(区画4)	⑨旧貸付地(宅地)
予定価格	54万1000円	4750万円	1740万円	498万円	278万9000円	590万8000円	456万円	503万6000円	247万3000円
所在地番	若竹町136-3外5筆	新光3-8-4外1筆	長橋3-69-4	塩谷1-129-4外4筆	最上2-64-20外2筆	最上2-64-19外2筆	最上2-64-18外2筆	最上2-64-17外1筆	赤岩2-20-1
地目	学校用地および雑種地	雑種地	宅地	宅地	宅地および雑種地			宅地	
地積	1万9533.97㎡	5953.49㎡	291.53㎡	5359.76㎡	2097.24㎡	3176.42㎡	2303.25㎡	1893.36㎡	278.17㎡
用途地域	第1種中高層住居専用地域	第1種住居地域	近隣商業地域(一部、準工業地域)	第1種住居地域	第1種低層住居専用地域				
建ぺい率	60%	60%	79.99%	60%	60%				
容積率	200%	200%	299.93%	200%	100%				
建物	旧若竹小学校校舎、体育館、旧小樽市教育職員独身寮建物	旧新光調理場建物、物置、車庫およびボイラー室	旧消防署長橋出張所建物						